

## 資生堂ジャパン、横浜市と「介護予防事業に関する連携協定」を締結

資生堂ジャパン株式会社は、横浜市と「介護予防事業に関する連携協定」を2025年3月26日(水)に締結しました。本協定は両者が相互に連携及び協力を行い、介護予防事業に関する取り組みを通じて、市民のみなさんの健康的な生活の実現を図ることを目的に定めたものです。

### 背景

資生堂は、企業使命「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(美の力でよりよい世界を)」のもと、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)を経営戦略の柱と位置づけ、多様な美の価値観の啓発や、ジェンダー平等のための教育支援などを積極的に実践しています。

資生堂の研究では、とりわけ高齢者が化粧をすることによって表情が明るくなるだけでなく、「認知症の周辺症状が緩和される」「要介護者のADL(日常生活動作)<sup>※1</sup>が向上する」といった効果が期待でき、高齢者のQOL(クオリティーオブライフ=生活の質)の向上に役立つこともわかってきました。

資生堂では、化粧のちからで介護予防をする「いきいき美容教室」や「ADL 向上のための整容講座」など、QOL向上をサポートする「資生堂ライフクオリティービューティーセミナー」を積極的に実施し、誰もが自分らしくいきいきと過ごせる社会の実現を目指しています。

<sup>※1</sup>ADL(Activities of Daily Living): 食事、排泄、着脱衣、入浴、移動など、日常の生活を送るために必要な基本動作

### 連携協定の目的

この度、当社と連携協定の締結に至った横浜市は、高齢化率が約25%という超高齢社会となる中、積極的に活力ある高齢社会を作り、人生経験が豊かであることを積極的に捉え、高齢者を尊重し、その人らしい尊厳をいつまでも保つことができる地域を目指し、市民のみなさんの健康寿命延伸への取り組みを積極的に展開しています。本協定を通じ、当社と横浜市の両者が今後、介護予防に関する知識の普及啓発及び化粧療法講座の開催など、さまざまな側面で連携することで、市民のみなさんのより一層の健康的な生活の実現を目指します。

### 【資生堂ジャパン株式会社と横浜市との連携・協力事項】

- 高齢者に対する介護予防・フレイル<sup>※2</sup>予防の普及啓発及び理解促進、啓発活動・イベントへの参加等に関する活動について相互に連携及び協力し行うものとする
- 資生堂ジャパン株式会社は、QOL向上及び介護予防・フレイル<sup>※2</sup>予防を目的として、横浜市と連携し、化粧療法<sup>※3</sup>「いきいき美容教室」を開催するものとする

<sup>※2</sup>人は年を重ねると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気になるまでも手助けや介護が必要となってきます。

このように心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル(虚弱)と呼びます。

<sup>※3</sup>スキンケアやメイクなど化粧行為を通じて心身機能やQOLの維持向上など健康寿命の延伸をめざす非薬物療法です。

### 地方自治体との共同取り組みについて

山形市との「健康の保持・増進に関する協定」(2023年8月締結)、札幌市との「さっぽろウェルネスパートナー協定」(2024年9月締結)、埼玉県との「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」(2025年1月締結)など、当社はこれまでも地方自治体の社会課題解決に向けて協働で取り組みを実施してきました。今後も引き続き、本業である「美の力」を通じた活動により、すべての人々が自分らしく暮らせる包摂性豊かな社会づくりに貢献していきます。